

報告

大阪頸髄損傷者連絡会・京都頸髄損傷者連絡会
合同交流会 in 京都太秦映画村

NPO 法人京都頸髄損傷者連絡会 会長 村田 恵子

前日の怪しい天気予報に決行か?変更か?と当日の朝まで、企画担当の役員と気をもみながら早朝の晴れるとも雨が降るとも判断のつかない空模様、日頃の行いがいいから大丈夫と映画村での合同交流会の開催を決め、最終連絡を入れて集合しました。

毎年開催される、この大阪頸髄損傷者連絡会(以下、大阪頸損連と略)との合同交流会は一年ごとに交代で幹事を行い、その年、その年の幹事さんの個性が発揮される楽しい取り組みです。

今年は、新しく企画担当になった畑本さんが検討に検討を重ね京都太秦映画村でイベント盛りだくさんのスケジュールを立ててくれました。

11時の集合には、大阪だけではなく兵庫から参加される方もあり、ボランティアの学生さんも含めて30名の参加者が集まりました。

集合してからは晴れ間も見え秋らしい過ごしやすい天気になり、まずは腹ごしらえと予約しておいたレストラン【スターズカフェ CHANBARA】で各々の好きなメニューを注文して、初めての方もいらしかったことから自己紹介をし、日頃なかなか会うことのない大阪頸損連のみなさん、兵庫から参加された方との歓談に時間を経つのも忘れて近況を報告し合いました。

今回の交流会には、リニューアルした京都頸髄損傷者連絡会のホームページにアクセスして頂き参加を希望された理学療法士の田中さんも近江八幡市より来られて頸髄損傷者の日常に興味深くかかわっていきたいとの思いを語っておられました。

お腹に十分な栄養を蓄えてから映画村専属の若手

俳優さんによる案内ツアーに参加しました。

秋の観光シーズンの真っ最中で、小池徹平、東山紀之など著名な芸能人が撮影する現場があったので楽しみに行ったのですが黒山の人だかりで車いすの私たちは埋もれてしまい見れずじまいでした。

その後、それぞれ興味のあるアトラクションに行ったり、人酔いして喫茶コーナーで時間をつぶす人と様々に集合時間まで映画村を堪能しました。

ほんと、遊ぶ事には童心に返ったように徹底して遊べる私たちは凄いエネルギーをもっているなあに関心しきりです。集合時間に集まったみなさんと記念写真を撮り、一次会の映画村ツアーは終わりました。

映画村から二次会の飲み会まで若干の時間的な余裕があったので、それぞれ京都駅周辺をぶらぶらと散策しました。

二次会は4名の会員さんと理学療法士の田中さん、ヘルパーさん3名の合計8名で、初めは頸損連の活動などまじめな話をしていましたが、お酒も入り口がいつも以上に滑らかになった私たち、紙面に書けないような?話題に盛り上がり2時間という時間があっという間に過ぎてしまいました。

おつかれさま~でした。

今回は、いつもの会員さん以外の参加もあって、この合同交流会の位置づけをあらためて考えさせられました。

また来年は、どんな新しい出会いがあるのかなつと楽しみにしています。

NPO 法人京都頸髄損傷者連絡会

〒601-8023 京都市南区東九条南松ノ木町

1-1-3-517